

防災体制について 地域活性化について



松下久己

問 消防の新防災拠点の運用が開始されるが、大規模災害、特殊災害への対応力に対する消防広域化についての見解は

答 複雑多様化する災害、救急需要の増加、大規模な災害が懸念される地震などに対応するには、小規模な消防組織では限界があります。そのため、消防広域化が全国で進められ、県内では、平成28年4月に25消防本部から16消防本部になりました。当地区においても東遠地区消防救急広域化検討会事務局会議の中で広域化に向け検討してきましたが、大きな進展はありません。今後、広域化の期限を見据えながら慎重に進めていく必要があると考えます。

問 御前崎市は御前崎港を核とした活性化を進めるべきで、クルーズ船の寄港、貿易に関する荷主の変更、荷主の獲得についての進捗状況は

答 27年度より客船誘致の取り組みを開始。清水港の視察、国交省港湾局の全国クルーズ活性化会議に入会、情報交換を行っています。誘致には観光資源が寄港の決定要素ですので、関連市町と連携して寄港に向けた準備を進めます。貿易拡大については、御前崎港振興会事業により、航路や貨物に対する助成制度を始めます。今後も貿易拡大に繋げていきたいと考えています。

問 浜岡原発再稼働の動きがある。UPZ圏内の7市長は再稼働に反対しているが、市長の考えは

答 新規制基準の適合性審査が行われている段階での発言は、控えさせていただきます。

原発再稼働問題及び 避難計画・避難タワー建設について 浜岡砂丘の埋め立ての問題点について



清水澄夫

問 原発の過酷事故に対する市民、高齢者の避難計画、避難訓練は、今後どのように策定するのか

答 市の広域避難計画骨子は概ね出来ています。避難ルート、受入先などは、県と調整しながら公表していきたいと考えます。

問 砂丘に埋め立てた砂はどこから運び、運んだ目的は何か。また、県は承認しているのか

答 砂は、中電の安全性向上対策工事で発生した砂で、浸食された砂丘復元のために盛土したものです。県と事前協議し、許可を受けています。



完成間近の消防庁舎

問 ヨウ素剤の配布方法と配布完了の時期は

答 佐倉一区は徒歩で津波浸水区域外への避難が可能な区域です。避難ルートの再確認や高齢者避難に伴う支援のソフト対策を進めていきたいと考えます。



浜岡砂丘入口



津波避難タワー

委員会報告

原子力対策特別委員会

平成28年6月21日に委員会を開催しました。内容は次のとおりです。

1 中部電力(株)からの浜岡原子力発電所の状況について

中部電力(株)では、現在、次のような安全性向上対策に取り組んでいます。

(1) 内部火災対策について
火災により原子炉施設の安全性が損なわれないよう、次の3つの対策を実施します。

- ① 火災発生防止：発火性又は引火性物質を内包する系統に油受け約70台設置
- ② 火災感知及び消火：火災感知器約2千箇所追加、電源盤や油内包機器、ケーブルトレイに自動消火装置を追加設置
- ③ 火災の影響軽減：耐火能力を有する障壁の追加設置等

(2) 内部溢水対策について
万が一建屋内が浸水した場合に對して、水密扉の設置や配管接続部からの浸水防止のため止水剤を充てんするなど安全上重要な機能を損なわれないよう対策を図ります。

(3) 注水機能強化について
これまでの注水手段に加えて、建屋内注水配管の追加設置や可搬設備による注水を可能とするための工事を実施します。

(4) フィルタベント設備配管設置工事について
万が一重大事故が発生した場合、格納容器の破損防止のため格納容器ベントが必要となります。この際に、セシウムなどの粒子状の放射性物質の放出を低減して長期的な土壌汚染を防止するため、フィルタベント設備を設置します。

(5) 緊急時対策所の機能強化について
福島第一原子力発電所事故相当の放射性物質の大量放出事象を想定し、緊急時対策所の放射線遮へい対策等を実施するため、耐震構造の建物を設けて緊急時対策所を強化します。

以上、中部電力(株)から報告を受けました。

2 浜岡原子力発電所の安全確保等に関する協定書について

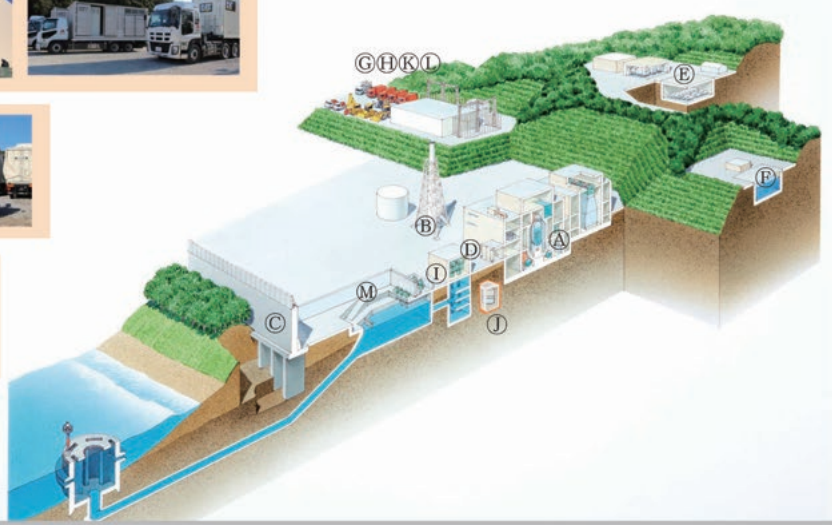
委員の構成が新しくなったことに伴い、県と御前崎市・牧之原市・掛川市・菊川市の4市が中部電力(株)と締結している安全協定についての認識を新たにするため、委員会の中で学習会を開きました。

内容は、秘書政策課原子力政策室の担当者から協定締結の経緯や目的についてまず説明があり、委員からは廃炉や再稼働、安全協定に関する質問が出されました。

安全性向上対策工事の状況について

【重大事故等に備える】
仮に原子炉施設の安全を確保するための機器が機能喪失しても、冷やす機能を確保し、重大事故に至らないようにします。
また、万が一重大事故等が発生した場合に備え、事故の進展を防ぐ機能を強化します。

- ＜電源対策＞
 - ⑥ ガスタービン発電機
 - ⑦ 電源車
 - 予備蓄電池
 - 災害対策用発電機
- ＜注水対策＞③
 - ⑥ 緊急時淡水貯槽
 - ⑧ 可搬型注水ポンプ車
 - ⑨ 可搬型取水ポンプ車
- ＜除熱対策＞
 - ① 緊急時海水取水設備
 - ① フィルタベント設備④
 - ① 代替熱交換器車
- ＜その他対策＞
 - 緊急時対策所機能強化⑤
 - 可搬設備保管場所・アクセスルート



中部電力株式会社より提供